

# 地域おこし協力隊のふくしま散歩!

10月2日(金)から4日までの3日間、東京・代々木公園で北海道産直フェアに参加してきました。

これは国内最大級の屋外型北海道物産イベントです。

福島町は、30種類の特産品の販売とPRしてきました。

今年は、晴天にも恵まれ東京は連日30度近い気温となりましたが、東京近郊に居住する福島町出身者(北海道福島会)の方々が中心となり、「地元福島町をもっと盛り上げたい。福島町の特産品をたくさんの人達に広めたい」と特産品の販売とPRを行いました。

このような熱い気持ちは、しっかりとお客様に伝わり3日間ですべての商品を完売する事ができました。私もこのような熱い気持ちを常に持ち日々の活動に活かしていければと感じております。

また、都会ではなかなか手に入らない福島町の特産品を関東圏の多くの方々に広めることができ、大変、嬉しく思っております。



地域おこし協力隊  
吉村 拓朗



▲出店の様子

10月に入り急に風が冷たくなって来ました。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので普段からお茶(カテキン)・トマト(リコピン)・葡萄(ポリフェノール)・ビタミンCなどを積極的に取って、風邪の予防にお気を付け下さい。

収穫の秋ということで町内の畑では、そば・白米・黒米の収穫が行われ、いくつかの農家の収穫に立ち合わせて頂きました。

全国的に農家の高齢化・担い手不足の状況ですが、海外からの研修生を受け入れるなどの対策で人数不足を補っている所もありますが、今回私が取り上げるのは「スマート農業」というキーワードです。

その意味は機械を使って農業の重労働を楽にしていこうという内容です。

具体的には、

- ① GPS機能を使ったトラクター等の自動運転  
タイマー機能付きで、暗い時間でも指定した範囲を動いてくれます。
- ② アシストスーツ  
着けているとアシスト機能で重労働が軽減できる機械です。  
重い物の運搬用の「パワーアシストスーツ」や作業補助用の「アシストスーツ」があります。
- ③ 自動除草ロボット  
水田の除草を自動で行うロボットが各社で開発され、現在試験段階まで来ています。

これからは、農作業の人数不足を機械が補っていくかも知れませんね。



地域おこし協力隊  
野口 和也



▲アシストスーツ



▲自動除草ロボット